

# 布津笑楽校だより

第9号

令和5年10月6日

南島原市立布津小学校

文責：校長 横田 秀富

## 秋季運動会では、温かいご声援ありがとうございました！

すばらしい好天の恵みのもと、多くのご来賓の皆様、保護者の皆様、地域の方々にご参観を賜り、無事に秋季運動会を開催することができ、歓喜の時間を過ごすことができました。子どもたちへの温かい声援やたくさんの拍手をありがとうございました。

ご家庭においても運動会でのお子さんの競技や演技のことについての話で盛り上がったのではないのでしょうか。子どもたち一人一人が主役でした。それぞれに様々な満足感や達成感、また悔しさなどがあったのではないのでしょうか。

日々、とても暑い中で練習を頑張ってきた成果を、それぞれの学年の子どもたちが十分発揮できた運動会でした。やはり本番が一番よかったです。たくさんの方々に見ていただくこと、拍手や声援が大きな力になることを改めて確信しました。

開会式で、紅組白組が競い合うように運動会の歌を大きな声で元気に歌う姿には、大変感動し、パワーをもらったような気がしました。1年生代表児童の誓いの言葉も大変すばらしいできばえでしたね！

また、特に感動したことは、短距離走で転んでしまう子どもたちがいましたが、誰一人あきらめることなく、すぐに起き上がりゴールまで走り抜いたことです。アクシデントに見舞われても、決して諦めることなく走り切った姿は何よりも美しく大変価値のあるものでした。すばしかったです。

私たち大人の役割として、子どもたちに、勝負事で勝っても負けても決して驕ることなく、負けても卑屈にならない「人間力」を身に付けさせていくことが大切だと再認識しました。世の中には、なかなか自分の思い通りにならない場面が数多くあります。どのように自分自身の気持ちに折り合いをつけるのかを教えるチャンスの一つが運動会です。

さて、コロナ禍の影響で、これまで大きな声で歌うことがなかった子どもたちです。世界に一つしかない自分の学校の歌は、元気がなかったかなと反省しています。運動会の歌のように校歌をもっと力強く歌えるように今後更に頑張っていきます。また、それぞれの子どもたちが運動会で成長できたことは各学級にて振り返りをし、今後のステップアップにつなげていきたいと考えています。

### 閉会式 児童代表の言葉

みなさん、今日の運動会は楽しかったですか。

今年のスローガンは「やる気！元気！本気！ 最後まで笑顔で走り抜けよう」でした。一人一人がスローガンを意識して頑張っていたと思います。1年生は初めての運動会でたくさんの笑顔があふれていてすばしかったです。2年生から5年生までもお互い協力し合っていました。そして、私たち6年生は小学校の最高学年として低学年を引っ張ることができたと思います。みんなで練習の成果を出し切り、悔いのない運動会にすることができ、忘れられない思い出になりました。

今日はお忙しい中、地域の方、保護者の皆様、最後まで応援ありがとうございました。この感謝の気持ちを忘れず、一人一人が努力して頑張ります。引き続き、布津小の応援よろしく願います。